

## 西脇市保育協会との課題懇談会報告書

開催日時：2023年10月16日（月） 13:30～15:00

開催場所：西脇市役所 委員会室

出席者：

＜西脇市保育協会＞

伊達恵一（西脇こども園長） 岡本 悟（比延こども園長）

藤尾茂雄（どれみこども園長） 垣内宏康（日野こども園長）

篠原昌明（かすがこども園長） 松本 浩（つまこども園長）

仲田保弘（芳田こども園長） 荻野隆之（黒田庄こども園長）

＜文教民生常任委員会＞

東野敏弘委員長、高瀬 洋副委員長

林 晴信委員、村岡栄紀委員、吉井敏恭委員

高瀬弘行委員、藤原哲也委員、藤原秀樹委員

### 1. 本年8月に提出された要望書の説明

#### (1) 職員の人材確保と定着のために

① 園の人材確保のための処遇改善事業の継続と支給額の増額

② 職員の住居手当に対する補助

③ 西脇市の奨学金制度の利用者に対する支援（1人おられる）

#### (2) 補助金事業における積算基準の引き上げ

・教育・保育必要経費分の積算基準が、園児一人当たり 5,000円となっているが、単価の増額を要望

#### (3) こども園における各システムの統一化に向けて

・登降園システムや会計基準システム、栄養計算システム等、8園が統一したシステムを導入できるための支援をしてほしい。システムを統一することで、事務の軽減につながる。

#### (4) 物価高騰に対する支援

・近年の物価高騰により、給食材料費・光熱水費等に支出が大幅に増大しているため、物価高騰対策の補助の要望（5年度も継続されている。）

#### (5) こども園の多機能化の取組への支援

・少子化が進む中、こども園の将来の運営も考え、「地域子育て支援拠点事業」や「放課後児童健全育成事業」の国の事業を認定こども園に運営委託することを検討していただきたい。

## 2. 意見交換

(議員)

- ・物価高騰に対する支援は、令和5年度も継続されていると思うが？

(こども園)

- ・令和5年度も継続して支援していただいている。

(議員)

- ・日本学生支援機構の奨学金については、国県の制度を利用して返済支援を受けられるが、西脇市の奨学金制度の利用者に対しては支援制度がない。西脇市の奨学金制度の利用者は、何人おられるのか？

(こども園)

- ・西脇市の奨学金制度の利用者は、現在1人である。

(議員)

- ・8園のシステムの採用状況は？また、こども園における各システムを統一するメリットは何か？

(こども園)

- ・8園のうち西脇こども園のシステムが他の7園と異なっている。8園のシステムが統一できれば、補助申請や提出書類が簡素化でき、事務職員が採用できる。

(議員)

- ・住居手当の支給は、どうなっているか？

(こども園)

- ・かすがこども園は月1万円を1人に、西脇こども園は月3万円を3人に支給している。他の園では住居手当を支給すべき職員がない。

(議員)

- ・園児一人当たりの必要経費分の積算基準が5,000円であるが、他市の状況はどうか？

(こども園)

- ・他市の状況は、把握していない。

(議員)

- ・外国籍の子どもが増えてきている中で多言語対応が必要な園児(保護者)は、何人いるのか？また言語は？こども園として困っていることはないか？

(こども園)

- ・西脇ーオーストラリア、ネパール、フィリピン
- ・かすがーベトナム2人      ・芳田ーインド、ベトナム
- ・つまーベトナム、中国      ・黒田庄ーベトナム
- ・日野ーベトナム      ・比延ーベトナム      ・どれみーなし
- ・重要事項の署名をしていただく際に困る。細かいところが通じて

いない。（例えば弁当）

- ・人手不足で通訳の方はいない。ポケトーク（各園2台ある）を活用したり、地域の方に協力してもらっている。

（議員）

- ・こども園園庭の地域への開放は行っているのか？

（こども園）

- ・西脇こども園・日野こども園は、原則毎日行っている。芳田こども園は、土日に行っている。

（議員）

- ・保育士の確保状況はどうであるか？

（こども園）

- ・保育士養成の短期大学や専門学校が、廃校になったり、定員減になっている。保育士希望者も減少している。
- ・保育士希望の生徒を増やすために、高校生へPRしている。

（議員）

- ・保育士確保に向けた各園の取組や保育士の現状（労働条件等も含めた）を聞かせていただきたい。

（こども園）

- ・比延－新規に、看護師と特別支援担当（聴覚）保育士を確保したい。
- ・どれみ－保育実習生に働きかけ、保育士を確保している。また、保育士の派遣（3人）も受けている。
- ・日野－現状、保育士は充足している。地元の保育士が全体の4分の3で、年齢構成もバランスが取れている。
- ・かすが－市内で最も若い保育士が多いため、研修等で力量を高めている。給与水準を上げることは大切だが、休みが取りやすいように工夫している。特に3連休や4連休が、年に1～2回とれるようにしている。
- ・芳田－年齢構成のバランスがとれており、60歳代の保育士にも頑張ってもらっている。働き方改革の一環で、給食は別にとっている。夏休み3日間取ることができる。毎月職員会議を持ち、担任・副担任・パートの意思疎通に心がけている。
- ・つま－現在、保育士はどうか確保できている。実習で採用につながった方はいないが、地域の方の協力やHPの充実を図り、実際にこども園を見に来てもらうようにしている。看護休暇を子ども一人に対し5日間、2人に対し10日間取れるようにし、子育て中の保育士が長く働けるようにしている。
- ・黒田庄－実習生に働きかけをして、就職してもらっている。産休・育休の代替えの保育士が年度途中採用になるため、確保しにくい現状がある。